

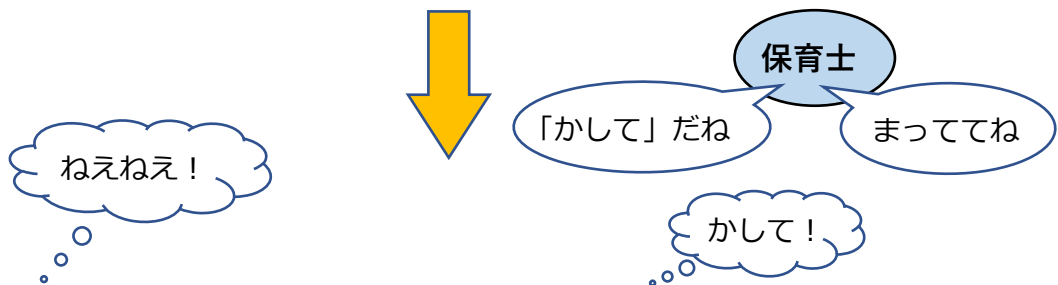
ぺんぎん組(0歳児)

令和4年9月
子生和保育園

～ ねえねえ！ ～



大人との愛着を基盤に子どもは自分の世界を広げていき、周りの子の存在に気付き始めます。同じ表情や動きをして顔を見合わせて笑ったり、“楽しそうだな”と同じおもちゃで遊んでみたりと、互いに興味を示すようになります。



人と関わる心地良さや楽しさを感じる中で、自分から関わろうとしたり、おもちゃを介したやりとりをしたりするようになります。保育士は子どもの気持ちを言葉に置き換えたり、関わり方の見本を見せたりしながら、他の子と関わりたい気持ちを大切にします。トラブルになることもありますが、「たのしい」「うれしい」という気持ちを共有することが、人と関わる力の基礎になっていきます。